



小野塚ゼミ

金曜5限@513演習室

# 3年生の皆さんへ

経済史は、歴史をたどることで、過去と今のつながりを学び、現代社会を都度再定義する学問です。そのため、ミクロ経済学のように企業の利潤を算出することも、経営学のようにマーケティングを駆使して顧客価値や次世代のトレンドを創出することもできません。ではなぜ経済史を学ぶのか。歴史を学ぶことは一見非生産的な行為ですが、そこには先人からの知恵や教訓、洞察が数多く隠れています。経済史は実体経済を動かすことはなかなかできません。しかし、長期的な視点から、実体経済の目指すべき未来やそのための指針を見出すことができます。

弊ゼミではとりわけ西洋経済史を扱い、現代社会システムを生み出したといっても過言ではない近代以降の西洋を、政治・経済・文化などの様々な視点から捉え、当時や現在の世界情勢を俯瞰する大局観を養います。

# 2020年度のゼミテーマ

## ○講義題目

「定常状態の可能性と資本主義の命運(Possibility of Stationary State and the Fortunes of Capitalisms)」

## ○授業の目標

これまでの経済成長を可能にしてきた条件と今後の定常状態への移行の可能性について、歴史的な知見と方法を用い、また、諸学の知見を援用しながら考察することを通じて、資本主義がもたらしうる多様な「富」・命運のありかを確定する。

## ○キーワード

持続可能性/文明崩壊/定常状態/さまざまな資本主義

# 小野塚知二 教授

1981年東京大学経済学科卒業後、修士・博士課程を経て、2001年より東京大学大学院研究科教授

研究テーマ

西洋経済史、近現代欧米社会経済史、ヨーロッパ統合史、労務管理史、兵器産業・武器移転史

近著

「経済史：今を知り未来を生きるために」有斐閣、2018年

「大塚久雄から資本主義と共同体を考えるーコモンウィール・結社・宗教」  
日本経済評論社、2018



# 活動内容（2019年度）

経済史に関する著書を輪読し、現代の礎を築いた歴史の経緯を学ぶ中で、なぜそのような歴史が生まれたのかを多角的に考察します。起きた出来事をただ理解するだけでなく、なぜそうなったのかというWhyを追求しながら、過去と現在の時間・空間的連関を学んでいきます。

## ○Sセメスター

「第一次世界大戦開戦原因の再検討－国際分業と民衆心理」輪読

## ○Aセメスター

卒論・ゼミ論の中間発表

## ○プロアクティブラーニングセミナー（希望者のみ）

「戦争と資本主義（ゾンバルト著）」輪読

# こんな方におすすめ！

- ヨーロッパの経済史・歴史を学びたい  
→弊ゼミは主に西欧を舞台にして経済史・歴史を学びます。
- 暗記力ではなく思考力を鍛えたい  
→ただ年号や事件を暗記するのではなく、なぜそれが起こったのかという答えのない遠大な問いを自分の頭で考えます。
- どうせ卒論を書くななら自由にテーマを決めて好きなことを研究してみたい  
→卒論テーマは完全に自由。恋愛心理や不動産など好きなことを研究します。
- 珍しい料理を作ってみたい  
→教授は東大日本料理グローバル研究連携ユニット代表でもあるので、世界のいろいろな料理を作れます！
- 猫が好き！  
→教授は野良猫の研究でも著名な方です。猫好きな方はぜひ弊ゼミへ！

# 年間行事予定

5月 新歓コンパ  
9月 夏合宿@箱根  
10月 フットサル大会  
12月 OBOG会@本郷近辺

2月 調理実習@湯島  
3月 追いコン



## ○夏合宿

2泊3日、例年は箱根で実施。参加率は7~8割程度、途中参加もOK！

日中は卒論テーマの発表や議論など。

フットサルの練習や観光もします！

夜は飲んだりレクリエーションをやったりして自由に過ごせます。



○フットサル大会  
直前の昼休みはみんなで集まって練習しました！

○OBOG会  
外資系やメガバン、官公庁など様々な方面に就職された諸先輩方とお会いできる機会！  
また、先生が最近の研究を踏踏まえた講演会を開いてくださります。

○各種コンパ  
パ長を中心に学期の始まりや終わり、テストの後などに定期的実施。



# 特色 1 「卒論テーマが自由」

- 「良い論文が書けるのは興味のある分野について書くとき」と教授は考えており、生徒の興味・関心を尊重してくださいます。  
→テーマ例:「現代の結婚観について」「電力自由化が市場に及ぼす影響」「ファッションウィークの歴史的変遷」など多岐に渡ります。
- 卒論執筆にあたって、夏合宿では経済史専攻の院生の先輩からフィードバックをいただけ、通常のゼミでは教授から様々なアドバイスをいただけるので、余裕を持って取り組めます。
- 2019年度、卒論を提出した先輩方は全員合格。  
うち2名が特選論文に選出されました。

## 特色 2 「調理実習」

○料理への造詣の深い教授のご指導のもと、世界の料理を作ります。教授曰く、料理は科学的・創造的なプロセスであり、料理を学ぶことはゼミの通常授業に匹敵するほど意義あることだそうです。

去年はゼミ生の希望でオーストリア宮廷料理を再現しました！



# 選考情報

○募集は10人

書類は、

- ①これまで読んだ書物と履修した講義の中で印象に残ったこと
- ②関心の所在と研究してみたいテーマ
- ③この演習を志望する理由

の3点を2000字から4000字でA4横書きのエッセイにまとめ、学部所定の書類とともに提出。面接を行う可能性もあるため、メールアドレスの併記もお願いします。締切の日時は経済学部ホームページやTwitter(@onozukazemi2019)にてご確認をお願いします。

○4年次からの新規参加は可能ですが、その場合は書類提出に先立って個別に相談をお願いします。